

未来への遺産を創造する ハートフルコンストラクター 荒牧組



【 59歳になってしまいました 】 18. 3. 24



<ガーン……>

なんとなく59歳になってしまいました。普通だと来年で定年です。友達の中には、既にリタイヤしてしまったり(させられた?)、関連会社に出向したり、いろいろな方向を向いて第3の人生を歩こうとしています。

去年は、6月に会社の健康診断で肺ガンが発見され、7月27日に入院し、途中約1ヶ月ほどの仮退院がありました。11月18日に退院し、現在に至っています。完治はしていませんが、外来による治療を続けています。体力はかなり落ちていますが、徐々に回復するよう頑張るつもりです。4月になったら何とかゴルフを再開したいと思っています！！



<去年は雪が…>

去年の3月は何をやっていたのかなと思い、手帳をめくってみました。
土木工事の完成検査があり、大きな建築工事の打合せがあり、今年よりは忙しい感じでした。
毎年のことですが、これから暇になる時期なので、どうしても気持ちが落ち着きません…。社員には、充電をして来るべき時期に備えよ、などと言うのですが、やはり何となく忙しい方がホッとしている自分が居ます。

今年は雪が少なく、除雪や融雪剤散布の数が少なくて助かりました。夜中の仕事は事故にもつながるので、心配です。

去年は3月4日に遅い雪が降りました。左の写真はさくら市第2庁舎の雪景色です。

<さくら市のさくら…>

東京にもさくらの開花宣言が出ました。
去年より7日位早いことで、この辺はいつ頃になるのでしょうか。
私の大好きな氏家小学校の桜は、去年は4月8日に二分咲き位でした。さくら市のシンボル桜にしたいような、スキッとした大木です。ぜひ見に来てください！！



氏家小学校の桜(2004年4月)→

<さすがのボルボも…> 

先日、会社の近くの国道4号線の交差点でぶつけられてしまいました。宇都宮方面を向いて右折しようとしたところ、信号の右折矢印が出たので発進したら、対向車線の直進車が突っ込んで、接触事故を起こしました…。

相手に「赤だったよね？」と確認したところ、「ハイ…」と了解したので、スムーズに話しあは進みました。もめたらどうなるのでしょうかね。
さすがの愛車のボルボも、結構なダメージを負いました…。タイミングが悪かったら大事故になるところでした。皆さんも気をつけてください！！

＜雛めぐりについて＞ H18. 2月

荒牧組が所在している、栃木県さくら市氏家地区では、2月から3月上旬にかけて、「氏家雛めぐり」が催されています。
氏家の中心街の商店や住民の方々が所持しているおひな様を、店先や玄関先などに飾り、一般公開しています。
我が家(自宅)でも、公開しております(下写真)。
江戸時代から現代のものまで、各家庭の自慢のひな人形を、一度に見ることができます。
駅前などに、雛めぐりマップが用意されており、ぜひ見に来てください☆。

7段飾りのひな人形は、戦中(昭和19年)で、おひな様が手に入りにくい時代に購入したものだそうです。

＜荒牧宅＞



↑ 雛めぐりの様子です。



← 立雛は昭和50年ごろのものです。

<氏家雛めぐりが終わりました(18年3月5日まで) H18. 3. 14>

我が家は、途中からの参加でしたが、3月5日(日)で氏家雛めぐりが終わりました。

途中参加だったため、案内マップには掲載されていませんでしたが、近所の方たちの案内で大勢の方が!に来てくれて、私たちも一緒に楽しむことが出来ました。

7段飾りのお雛様は、私の姉が生まれたとき(昭和19年1月)に祖父が買ってくれた物です。当時は戦時中でしたので、なかなか手に入らず、宇都宮市の「スズタメ」さんに1基だけ展示してあったもの無理を言って買い求めたようです。木箱には「玩具統制品」のシールが貼ってあります。

主催者の方が連れてきたお雛様に詳しい人が見たところによると、作者は玄徳斎の弟子の滝沢光龍斎で作られたのは昭和初期ではないか、とのことでした。

すべてのお雛様が同じ時期に作られたものではなく、ばらばらに作られたものをまとめたもので、当時としては珍しいことでは無かったようです。

特に三人官女は違いが良く出ているそうです。

杉製の箱に入っているのですが、桐製の箱より高級なのだそうです。

どんな世界にも専門の方はいるものだ、と家族一同関心いたしました。

昔は古いお雛様も沢山あったそうですが、保存状態が悪くダメになってしまったものが多いそうです。

ここ3年くらい面倒で飾らなかったのですが、これを機会に毎年飾ることで出来、お雛様も喜んでいること思います。

<古香庵さんに展示>



<宇都宮グランドホテルさんに展示>



<珍客と孫の良>



